

弥生人養成講座 —「弥生の技」— を開催します

史跡下之郷遺跡からは、弥生人の生活や文化を知るうえで貴重な遺物が多数出土しています。弥生時代の生活技術（衣・食・住）を体験しながら学ぶ講座をおこなっています。2月には下記の講座を開催します。ふるってご参加ください。

日時 平成31年2月23日（土）午後1時30分から4時まで

演題 『装飾の起源から装いの文化を考える』

講師 福本 繁樹さん（染色家・民族藝術学会）

機の発明は、服飾文化にとって画期的な一大変革でした。しかし織物以前の時代から現代まで、あらゆる民族が、自らの身体を飾りデザインすることに、このうえない努力と情熱と精力をそそいできています。

人類がはじめて装飾をほどこしたのは何に対してだったのだろうか。人類は何のために装いをはじめたのか。南太平洋へのフィールドワークなどをてがかりに、衣文化について原点から考察します。



▲タパの模様 パプア・ニューギニア



▲編布（セゼ）の模様 ハヌアツ ペンテコスト島

〔開催場所〕

下之郷史跡公園

〔定員・参加費〕

30人(事前申し込みが必要)・無料

==== お問合せ、申込みは ====

下之郷史跡公園（火曜日、祝祭日の翌日は休館）

守山市下之郷一丁目12番8号

☎・FAX 077(514)2511

※ 各回ごとの申込みも可。定員になり次第×切らせていただきます。

守山市教育委員会事務局文化財保護課

稲と雑穀の会・弥生織りの会・下之郷じいちゃんズ